

## 平成30年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立中里中学校  
所在地 佐世保市中里町905番地  
校長 澤田 忠義  
生徒数 346名 学級数 12学級



### 1 主なテーマと目的

#### (1) 地域連携事業の推進

- 人権・平和学習や保健指導に講師をお招きして講演会を行い、専門的なお話をしていただくことにより、生徒に自身の考えを深めさせる機会とする。また、家庭、地域にも広く案内を行い、講演会を機会に、共通の話題で語り合う機会を設ける。
- 職場体験学習を通して、働く意義や仕事の厳しさを体感することにより、自身のこれからの生き方について真剣に考える機会とする。
- 校区内の2小学校や地域との連携事業(「地域ふれあいクリーン作戦」)を通して、生徒に地域の一員としての自覚を育てると共に、地域(=ふるさと)を愛し、大切にしていこうとする心情を育てる。また、日頃接する機会が少ない小学生や地域の人たちとの交流を通して、人の立場や状況を理解し、感謝する心や敬う心を言葉や態度に表すことの大切さを身につけさせる。



人権集会のひとこま

#### (2) グリーンスクールづくりの推進

- 中庭や学校入り口から校門付近を中心として、四季折々の花々を育てたり、掃除等を通じて桜並木の世話に力を入れたりすることにより、「環境保全」・「自然愛護」・「愛校心」などの心情を育む。
- 中庭の池や玄関の水槽に生き物(金魚やめだか等)を飼うことで心を和ませる場とするとともに、「生命尊重」の心を養う。

#### (3) さわやか挨拶運動の推進

- 日常的なあいさつ指導に力を入れていく。そのために、「さわやか挨拶運動」を推進するスローガンを染め抜いた幟を立て、PTA・地域を巻き込んだあいさつ運動を展開し、さわやかな挨拶ができる生徒を育成する。
- 生徒会活動を活発化させ、生徒に学校への誇りや愛校心を持たせることで、生徒自身の課題として「あいさつ運動」を捉えさせ、実践していく行動力を身につけさせる。



PTA 愛のひとこえ運動

#### (4) 本に親しむ環境づくりの推進

- 学校図書室が普通教室から遠い位置にあることで、本に親しむ機会が少ないことを考え、学級文庫を充実させることに取り組む。学級文庫を整理する書棚を各学級に入れて整理させ、学級文庫の充実に取り組む環境整備を行う。
- 図書ボランティアと協力して学校図書室の整備に力を入れ、生徒の興味関心を呼ぶことに力を入れる。また、「読み聞かせ」を計画・実践し、本の世界の面白さを体感させる。

## 2 活動内容

### (1)地域連携事業の推進

#### ①人権学習:全校生徒・保護者・地域 12月6日(水)

北九州市を中心に活動している人権バンド「願児我楽夢」を招いて人権コンサートを開催した。生徒は、トークや音楽で伝えてくれる人権の諸課題について、事前の人権学習で学んだことの再学習をした。また、音楽により講話とは違う感じ取り方ができた生徒が多くいた。

人権実行委員は集会の準備の中で、地域に向けたポスターを作成し、商店等に掲示を依頼するなど地域に向けて情報発信を行った。当日は、ポスターを見て来場して下さった地域の方が参観に訪れ、生徒と共にコンサートを楽しまれた。

#### ②性教育講演会:全校生徒・保護者 2月8日(金) 体育館

学校保健委員会の中で性教育講演会を開催し、南島原市の助産師、中村まり子さんをお招きし、「心と体の主人公になるために～助産師の活動を通して見えてきたもの～」のテーマで講話を行っていただいた。学校保健委員会で、親子でも性についての話をすることが難しいという意見があり、全校生徒と保護者を対象に講演会を開催した。

生徒の感想では「アイタッチ」「自己決定」など講話の中で触れられた言葉の意味を理解し、今後の生き方に活かしていこうとする姿勢等が記されていた。また、保護者から子育てを見つめ直したりこれからの親子関係について考える機会となったりとよい講演であったという感想が多く寄せられた。



性教育講演会

#### ③職場体験学習:2学年生徒 9月12日(水)～14日(金)

校区内中心に市内35事業所

2年生の進路学習の一環として計画し、校区内を中心に市内35事業所で実施した。

各事業所で職業人と触れ合いながら実際に働く体験をしたり、様々な職業の方の話を聞いたりする中で、また、事前指導の事業所への事前訪問準備の中で、電話のかけ方や必要事項の聞き取り方を通して、働く意義や社会人としてのマナーの大切さ等を学ぶことができ、自身の生活を振り返る機会ともなった。さらに、自分自身の将来の生き方や在り方を考え、今後の進路選択への意識を高めることができた。

事後指導の事業所へのお礼状書きでは、畏まった手紙を書く機会が乏しい生徒達にとって、基本的な手紙の書き方や丁寧な字で誤字・脱字にまで気を遣って書くことを学ぶ機会となった。また、まとめの新聞作りでは記事の構成やわかりやすく効果的な表現等新聞作りの視点を通して表現することについて学ぶ機会をなした。



2年職場体験



#### ④地域ふれあいクリーン作戦:全生徒・校区内小学生・職員・地域住民

10月16日(火) 校区内全域

今年度は晴天に恵まれ、2年ぶりに校区内小中学校3校と保護者、町内会長を中心とした地域住民も参加して実施をすることができた。

3校の生涯学習担当で計画をまとめ、3校と町内会長や青少年健全育成会等の各地域団体代表で構成される「地域推進委員会」で計画内容の詳細を検討した。9月に中学生の地区生徒会長が町内会長宅へ訪問し、具体的な活動内容について打合せを行い、作業手順や小学生への配慮、反省会の進め方まで確認を行った。事前の電話連絡や打ち合わせ内容の確認等では職場体験学習での経験が活かされ、スムーズに行うことができ、さらに事業を進める上で年少者やお年寄りへの配慮すべきことなどを学ぶことができた。



ふれあいクリーン作戦

当日は、地区生徒会長を中心に中学生が中心となり、小学生をまとめ、地域住民と触れ合いながらゴミ拾いや草取り等に取り組んだ。地域の方からは、中学生がリーダーシップを取り、小学生をまとめて作業に取り組んでくれたと評価をいただくことができた。また、自分が居住する地域の環境美化に対する関心を高め、地域美化を推進する契機とすることができた。

#### (2)グリーンスクールづくりの推進:全校生徒 通年 校内

本校の中庭、校門周辺の花壇には、季節を感じさせる木々や花が植えられ、四季折々に木々の葉が色づき、植物が花を咲かせ、生徒や来校者に季節感を味わわせ、心を和ませている。中庭の池には、睡蓮が育っており、夏には花を咲かせる。また、学校入り口から校門周辺、駐車場・グラウンドにかけて桜が植えられており、3月末から入学式の頃にかけて、満開の見事な花を咲かせ、春の中里中学校を象徴するものとなっている。地域の方々にも桜の名所として親しまれ、多くの方が訪れる。卒業生が還暦祝いとして植樹されている。

生徒は清掃の時間に草取りをしたり、朝早く登校し落ち葉を取り除くなどしたりしている今年度は、技術・家庭科の時間で栽培したパンジー・ビオラをプランターに植え、管理作業を1年生が取り組み、校内に彩りを加えた。中庭にある池には鯉が泳ぎ、玄関にある水槽では金魚とメダカが飼育されている。生徒は自主的に餌をやり、水槽を掃除したり、餌がなくなりかけると報告に来たりと主体的に関わっている。花や生き物に触れる機会が生徒の生き物に対する愛情を育て、生命を尊重する心情や優しさなどを育てることができている。



1年生の花の栽培

#### (3)さわやか挨拶運動の推進:全校生徒・保護者 通年 学校を中心に家庭・地域内

生徒会活動として、学校入り口で生徒会役員が「朝の挨拶運動」に取り組み、「元気な挨拶が飛び交う学校」を目指して活動している。生活委員会では「ワンストップ挨拶」の徹底を目標に取り組んでいる。継続した実践の成果が実を結び、多くの生徒が元気な声でワンストップ挨拶ができている。本校の良いところとしてあげる生徒も少なくない。

PTA生活環境部では、毎年10月に「愛のひとこえ運動」に取り組んでいる。今年度は10月17日(水)~19日(金)の3日間、生徒が登校する時間帯の7時40分~8時まで、生活環境部の呼びか

けに応じて下さった保護者が毎日校門付近に立ち、登校する生徒に笑顔で挨拶を行った。生徒も恥ずかしがりながら挨拶を交わす姿が見られた。

学校に訪れた方だけでなく、地域で地域の方に挨拶をする生徒も増え、校内だけでなく地域でも挨拶を実践できる生徒が増えてきた。また、横断歩道など止まってくれた車に対してお辞儀をするなど、様々な場面で礼儀正しさを育むことに波及している。学校入り口から校門までの中里坂には、「さわやか挨拶運動」を推進するスローガンを染め抜いた幟を通年で立て、生徒への意識付けだけでなく、来校する保護者や地域の方々にも「さわやか挨拶運動」に取り組んでいることを広報し、地域と一緒に挨拶運動を盛り上げていくのに役立っている。

#### (4)本に親しむ環境づくりの推進

##### ①学級文庫の整備:全校生徒 通年 各教室

生徒会図書委員会を中心に、生徒が気軽に図書を手にして読書に親しみやすくするために、学級文庫の整備に力を入れている。また、毎週金曜日に「図書ボランティア」が数名来校し、図書館内の飾り付けや玄関ホール、各教室など校舎内に掲示物の作成し掲示している。季節感のあるイラストや掲示物で、読書の楽しさや図書館への来館を呼びかけている。

身近に本があることで本を手にとると共に、図書委員の選書のため普段は手にしないような本にも興味を示し、読書の幅を広げていく生徒もいる。また、「図書ボランティア」の楽しく、温かな掲示物を見て、読書意欲が高まり図書室へ足を運ぶ生徒もいる。



##### ②絵本の読み聞かせ:全校生徒 11月7日(水) 各教室

本に親しむ環境づくりの一環として、毎年、学校司書と図書ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」を開催している。今年度は11月7日(水)の朝読書の時間(8時15分から35分)の20分間を使い、各学級にボランティアが1名ずつ入り、絵本や紙芝居を使った読み聞かせを行った。

生徒達は、読み手の巧みな語りや物語のおもしろさに引き込まれ、集中して聞き入る姿が見られた。絵本から教えられることがあることに気づき、読書が苦手な生徒が本を手にするきっかけにもなり、また、情操教育の一環としても継続して実践していく。



### 3 成果と課題

- 継続して取り組んできた内容であり、保護者・地域が連携して取り組んでいることに、本校の特色があると考えられる。今年度は、人権集会で初めての試みとして地域に向けて広報用のポスター掲示を行った。ポスターを見て参観に来てくださった方もおり、今後も内容に応じて、地域への広報活動を行っていく。
- 「グリーンスクールづくり」においても、1年生の技術・家庭科の実践と合わせて、1年生に卒業式へ向けた花の栽培に取り組んだ。目的が明確であるため、生徒の意欲も高く、熱心に取り組んでいる。先にあげたポスター制作のように、目的を明確にし、生徒が主体的に取り組める内容を検討し、事業の中心に据えられるように見直していく必要がある。